

小田全宏の黎明塾

全100回シリーズ

第14回

「禅の悟りと日本人のころ」

収録：2011年11月10日

- 01 禅の悟りとは瞑想状態にある忘我の境地
- 02 人間の脳機能からみた煩惱とその解消法
- 03 今を生きる—禅の神髄は「前後際断」にあり
- 04 あらゆる出来事を受け容れ、さらに人生を一步進む
- 05 随所に主となり、一期の出会いを大切にす
- 06 人生の四季を味わいながら生きる
- 07 「小田流実践禅」のススメ

第 14 回 黎明塾 板書

『禅の悟りと日本人の心』

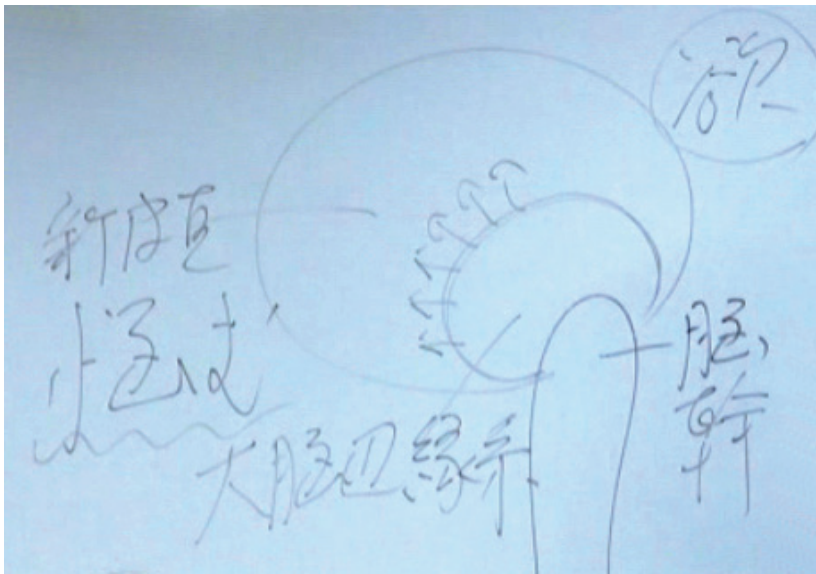
01 禅の悟りとは瞑想状態にある忘我の境地

仏道を習ふといふは、自己を習ふなり。

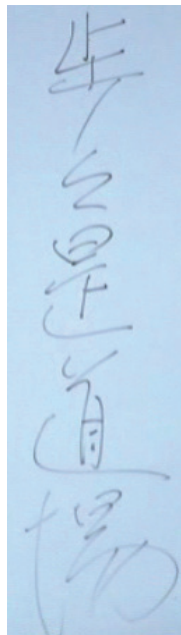
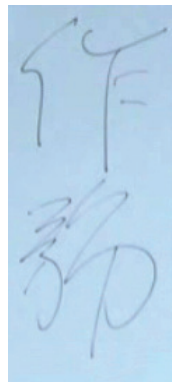
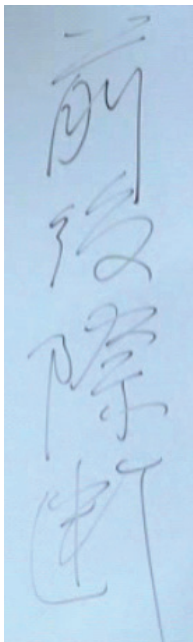
自己を習ふといふは、自己を忘るゝなり。

自己を忘るゝといふは、万法に証せらるゝなり。

02 人間の脳機能からみた煩惱とその解消法



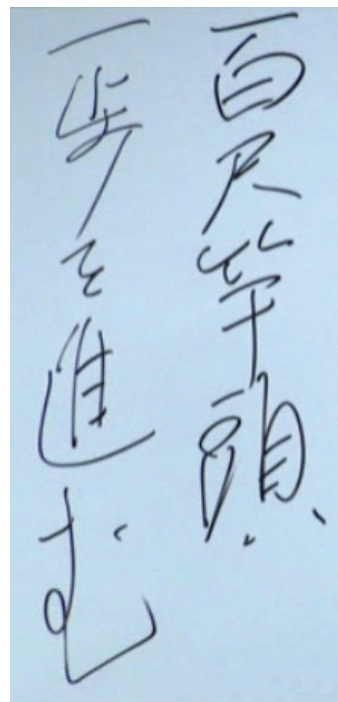
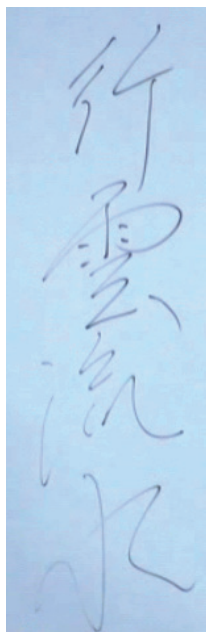
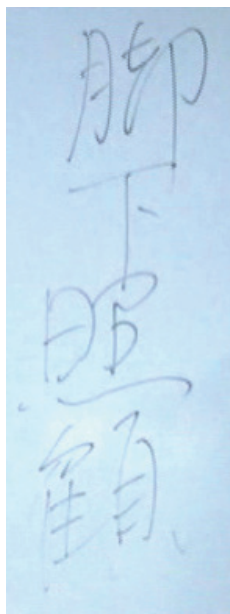
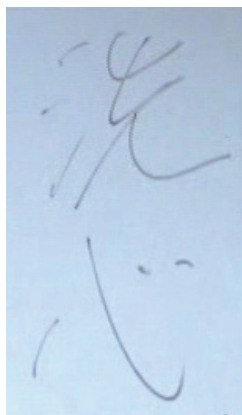
03 今を生きる一禅の神髄は「前後際断」にあり



第 14 回 黎明塾 板書

『禅の悟りと日本人の心』

04 あらゆる出来事を受け容れ、さらに人生を一步進む



05 随所に主となり、一期の出会いを大切にする

